

No2 建築工事現場において、次の3つの災害について、施工計画にあたり事前に検討した災害の発生するおそれのある作業の内容とそれを防止するための対策を、それぞれ2つずつ具体的に記述しなさい。
ただし、解答はそれぞれ異なる内容の記述とし、安全帯や保護帽の着用、朝礼時の注意喚起、点検・整備などの日常管理、安全衛生管理組織、新規入場者教育に関する記述は除くものとする。

1. 墜落災害

答え---

作業内容：外部足場を利用した外装作業

防止対策：外部に筋交いと巾木を設ける

最上部には横手すりを、階段部には上り手すりを設ける

作業内容：内部仕上げ工事に使用する脚立

防止対策：足場板を掛けるときは3点固定を厳守する

端部、足場板の重ね部分には専用器具やゴム製バンドなどで固定する。

他に、ローリングタワー、エレベータや地下ピットの転落防止、鉄骨建方時の転落防止などでも可

2. 崩壊・倒壊災害

答え---

作業内容：型枠建て込み作業

防止対策：風の強い日や高さのある作業では一人作業をしない

脚立の天端には立たない。

作業内容：型枠支保工の組立作業

防止対策：支柱脚部に根がらみ、足場板への固定などを実施し、滑らないようにする。

突き合わせ継手とし、支柱の座屈防止に単管にて固定する。

鉄骨・木造の建て方工事、掘削部分に近接して通行しなければならない場合の措置等でも可

3. 重機関連災害

答え---

作業内容：移動式クレーンの荷揚げ工事

防止対策：法面の崩落等が考える場所に設置しない

地盤の不同沈下防止に鉄板等を敷く

転倒防止にアウトリガーを完全に張り出す。

作業内容：バックホウを利用した掘削工事

防止対策：旋回範囲内に立ち入らないように監視員を設ける

運転席を離れる場合はバケットを下ろしておく

この過去問は受講者専門のページです。
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>